



Taka Ishii

Gallery

1-3-2 5F Kiyosumi Koto-ku Tokyo #135-0024, Japan
tel 03 5646 6050
fax 03 3642 3067
web www.takaishiigallery.com
email tig@takaishiigallery.com

畠山直哉 Naoya HATAKEYAMA

- 1958 岩手県陸前高田市生まれ
1981 筑波大学芸術専門学群総合造形コース卒業
1984 筑波大学大学院芸術研究科修士課程デザイン専攻修了
1997 第22回木村伊兵衛写真賞受賞
2000 第16回東川賞国内作家賞受賞
2001 第42回毎日芸術賞受賞
第49回ヴェニス・ビエンナーレ日本館参加
2003 日本写真協会年度賞受賞

個展

- 2011 「Terrils」 COALFACEギャラリー (ゲント、ベルギー)
2010 「Terrils」 ルワルド鉱業歴史センター (フランス)
「Blast」 草場地撮影季 (北京)
「線をなぞる/山手通り」 タカ・イシイギャラリー
「Scales」 大和日英基金 (ロンドン)
2009 「光のマケット」 タカ・イシイギャラリー京都
「Naoya Hatakeyama」 アルルの出会い (アルル、フランス)
2008 「Ciel Tombé」 タカ・イシイギャラリー
2007 「Draftsman's Pencil」 (今日の作家XI: 鷺見和紀郎・畠山直哉) 神奈川県立近代美術館 鎌倉
「Scales」 カナダ建築研究所 (モントリオール)
「A BIRD」 空蓮房 (東京)
2006 「二つの山」 (バルタザール・ブルクハルト、畠山直哉) 東京アートミュージアム(調布)
「Zeche Westfalen I/II Ahlen」 タカ・イシイギャラリー
2005 「Tokyo, A City of Light」 サンタフェ大学マリオン・センター(ニューメキシコ)
「Naoya Hatakeyama」 クンストハレ・ザンクト・アネン (リュールベック、ドイツ)
2004 「Atmos」 L. A. ギャラリー
「Naoya Hatakeyama」 C/O Berlin(ベルリン)
「Atmos」 大阪成蹊大学芸術学部 space B(京都)
2003 「Naoya Hatakeyama」 アルル国際写真の出会い(アルル、フランス)
「Naoya Hatakeyama」 BBK 財団(ビルバオ、スペイン)
「Atmos」 タカ・イシイギャラリー
2002 「Slow Glass」 ノーザン・ギャラリー(サンダーランド)/ウィンチェスター・ギャラリー(ウィンチェスター)/インプレッションズ・ギャラリー(ヨーク)/ディック・インスティテュート(キルマーノック、グラスゴー)ほかイギリス各地を巡回

- 「Naoya Hatakeyama」ハノーヴァー美術協会(ドイツ)/クンストハレ・ニュルンベルク
(ドイツ)/ハウス・マルセイユ写真財団(アムステルダム)
- 「島山直哉写真展」岩手県立美術館(盛岡)/国立国際美術館(大阪)
- 「Slow Glass」L. A. ギャラリー
- 「Slow Glass」タカ・イシイギャラリー(東京)
- 2001 「UNDER CONSTRUCTION」(島山直哉, 伊東豊雄) AA スクール(ロンドン)
/コロンビア大学建築ギャラリー(ニューヨーク)
- 2000 「Lime Works」コロンビア大学建築ギャラリー
- 「Underground」L. A. ギャラリー
- 1999 「Underground」中京大学アートギャラリーC・スクエア(名古屋)
- 「Underground」ハヤカワ マサタカ ギャラリー(東京)
- 1998 「島山直哉」結城市民文化センター(茨城)
- 「BLAST」ギャラリーNWハウス(東京)
- 「Naoya Hatakeyama」L. A. ギャラリー(フランクフルト)
- 1997 「Lime Woks」ミノルタフォトスペース(新宿, 大阪ほか)
- 1996 「都市のマケット」ギャラリーNWハウス
- 「Lime Woks」ローマ日本文化会館 / ディアゴナーレ・マルチメディア・センター(ローマ)
- 1994 「Lime Woks」ギャラリーNWハウス
- 「The City and its Origin」フォックス・トルボット博物館(レイコック, イギリス)
- 1991 「Lime Works」フォト・インターフォーム (大阪)
- 1990 「A travers la Tunisie」アラブ世界研究所(パリ)
- 1989 「等高線」エルーヴィル劇場(カン)、アルトテック・ドゥ・ナント、ファレーズ市立図書館
巡回(フランス)
- 1988 「Lime Hills」ツァイト・フォト・サロン (東京)
- 1987 「Lime Hills」フォト・インターフォーム
- 1986 「島山直哉」東京造形大学
- 1983 「等高線」ツァイト・フォト・サロン

グループ展

- 2011 「真実、嘘、想像—台日現代写真展」Yi&C. 現代アート (台北)
- 「所蔵作品展『近代日本の美術』+ 緊急企画『特集 東北を思う』」東京国立近代美術館
- 「来るべき未来への追憶」旧プラグ・イン (バーゼル)
- 2010 「断絶と連続」ヒューストン美術館
- 「地平線のない風景」シュロス・モイランド美術館 (ベドブルグ・ハウ、ドイツ)
- 「ビヨンド・メディアエーションズ」ポズナン・ビエンナーレ (ポーランド)
- 「陰影礼賛」国立新美術館 (東京)
- 「中国現代美術との出会い—日中当代芸術にみる 21 世紀的未来」栃木県立美術館
- 2009 「日本工房」フォルマ国際写真センター (ミラノ)
- 「プリ・ピクテ『大地』最終選考作家展」パッサージュ・デ・レ (パリ)、テサロニキ、
ドゥバイ、ダブリン、モスクワ、ベルリン巡回。
- 2008 「初めての疑い—近代写真における視覚的混乱」イェール大学アートギャラリー (アメリカ)

- 「Asian Dub Photography」 モデナ貯蓄銀行財団 (イタリア)
- 「Water in Photography」 ハウス・マルセイユ写真財団 (オランダ)
- 「建築の記憶-写真と建築の近現代」 東京都庭園美術館
- 「アートは心のためにある:UBS アートコレクションより」 森美術館 (東京)
- 「ヘヴィ・ライト—現代日本の写真とビデオ」 国際写真センター (ニューヨーク)
- 「写★新世界」 せんだいメディアテーク (宮城)
- 「二つの山」 ザルツブルグ近代美術館
- 2007 「Fascination」 日本橋高島屋美術画廊X(東京)
- 「不完全な世界:UBS アートコレクションより」 ニューサウスウェールズ州立美術館 (シドニー)、国立ヴィクトリア美術館 (メルボルン)
- 「ニュー・テリトリーズ」 L.A. ギャラリー
- 「アートの変遷層—新しいアジアの波」 (ZKM10周年展) ZKM現代美術館 (カールスルーエ、ドイツ)
- 「静止した瞬間」 Z33 (ハッセルト、ベルギー)
- 「地図、宇宙発生論、および基準点」 CGAC ガリシア現代美術センター (サンティアゴ・デ・コンポステーラ、スペイン)
- 「グローバル・シティズ」 ターバイン・ホール、テート・モダン (ロンドン)
- 「美麗新世界—当代日本視覚文化」 北京・東京アートプロジェクト (北京)、広東美術館 (中国)
- 「島の目」 マイケル・ホッペンギャラリー (ロンドン)
- 2006 「昭和の記憶-写真に甦る人々の情景-」 群馬県立館林美術館
- 「トンネル・ヴィジョン」 アントワープ写真美術館 (ベルギー)
- 「11人の現代作家」 マイケル・ホッペン・ギャラリー (ロンドン)
- 「スペクタキュラー・シティー—未来を写す」 NAI・オランダ建築研究所 (ロッテルダム)、NRW フォーラム (デュッセルドルフ、ドイツ:2007)
- 「コレクションの声:ジャック・ピエへの白紙委任状」 ル・リング、アルトテック・ドゥ・ナント
- 「コレクション3」 国立国際美術館
- 2005 「第26回サンパウロ・ビエンナーレ・セレクション」 チリ大学芸術学部現代美術館、サンティアゴ (チリ)
- 「中断された瞬間」 アルザス現代芸術センター (アルトキルシュ、フランス)、ヴィーゴ現代美術館 (スペイン) (-2006)
- 「隠喩としての風景」 ウルズラ・ブリックル財団 (クライヒタル、ドイツ)
- 「失楽園—現代写真における風景」 オペルヴィレン財団 (リュッセルハイム、ドイツ)
- 「マルティプル・ルーム(2) 公園」 バーデンバーデン国立美術館
- 「まなざし・記憶・希望 光と影の彼方に」 北海道立釧路芸術館
- 「建築を撮る」 ギャラリー・クレアフォンタル (ルクセンブルク)
- 「風景遊歩 sight-cruising」 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 (香川)
- 「コレクション2」 国立国際美術館
- 「時代を切り開くまなざし—木村伊兵衛写真賞の30年1975-2005」 川崎市市民ミュージアム
- 「85/05—写真史:幻のつくば写真美術館からの20年」 せんだいメディアテーク
- 2004 「六本木クロッシング:日本美術の新しい展望2004」 森美術館(東京)
- 「メディアレーナー日本の現代美術」 ゴヴェット=プリュスター・アートギャラリー

- (ニュー・プリマス、ニュージーランド)
- 「ブレインストーミング 倫理の地勢学」国立風景芸術センター(ヴァシヴィエール, フランス)
- 「都市空間」クンストフォーラム・バロワ (バーゼル、スイス)
- 「あつらえの自然!？」ツェッヒェ・ヴェストファーレン (アーレン、ドイツ)
- 「smt コンストラクション・ワンダーランド」せんだいメディアテーク
- 「メタモルフ」ヴェネツィア・ビエンナーレ第9回国際建築展
- 「テイク・ファイブ!ハウス・マルセイユ5周年」ハウス・マルセイユ写真財団
- 「建築の諸相: V&A とシェフィールド市所蔵写真から」グレーヴス・アートギャラリー (シェフィールド、イギリス)
- 「解放区」(第26回サンパウロ・ビエンナーレ) シッシロ・マタラッソ・パピリオン (ブラジル)
- 「リボンの騎士の秘密の森」M.Y. アート・プロスペクツ (ニューヨーク)
- 「現実を信じますか?」(台北ビエンナーレ) 台北市立美術館 (台湾)
- 「10周年展」タカ・イシイギャラリー
- 2003 「写真の歴史」フランシス・リーマン・ロープ・アートセンター (ポキプシイ, ニューヨーク)
- 「日本-現代の陶磁と写真-伝統と現代」ダイヒトアハレン・ハンブルク
- 「日本写真史」ヒューストン美術館/クリーヴランド美術館(アメリカ)
- 「スケールの遊戯」ガイエゴ現代美術センター/サンティアゴ・デ・コンポステラ(スペイン)
- 「第10回国際写真ビエンナーレ」トリノ(イタリア)
- 「タイムフレーム」ジャパソサエティ(ニューヨーク)
- 「アティチューード」ブライス・ウォルコウィッツ・ギャラリー(ニューヨーク)
- 「自然の消費」コロンビア・カレッジ・シカゴ現代写真美術館(アメリカ)
- 「マスク・オブ・ジャパン: 現代日本写真」アウラ・ギャラリー (上海)、広東美術館 (中国(-2004))
- 「心の在り処 -日本の現代美術-」ルードヴィヒ美術館(ブダペスト)/モスクワ市現代美術館 (モスクワ)
- 2002 「未完の世紀: 20世紀美術がのこすもの」東京国立近代美術館
- 「エピソード」ウオーウィック大学ウオーウィックアーツセンター・ミードギャラリー(イギリス)
- 「予兆: 日韓現代作家展」ケルン日本文化会館(ドイツ)
- 「12人の挑戦-大観から日比野まで」水戸芸術館現代美術センター(水戸)
- 「山」ハイデルベルク美術協会(ドイツ)
- 2001 「バウアート ハイデルベルクセメント社コレクション展」クアプファルツ博物館(ハイデルベルク, ドイツ)
- 「ファースト&スロウ」(中村政人・畠山直哉・藤本由紀夫)第49回ヴェニス・ビエンナーレ日本館(イタリア)
- 「無の精神性」バンカハ財団(バレンシア, スペイン)
- 「アウト・オブ・ジャパン」ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館(ロンドン)
- 「モネの遺産: シリーズ-秩序と強迫」ハンブルク市立美術館 (ドイツ)
- 「新しき故郷」フランクフルト美術協会(ドイツ)
- 「アーバン・ポルノグラフィ」ジ・アーティスト・スペース(ニューヨーク)

- 2000 「予兆：アジアの映像芸術展」国際交流基金フォーラム(東京)
「-scape:」ハヤカワ マサタカ ギャラリー
「夢の跡 日本の現代美術」ハウス・アム・ヴァルトゼー(ベルリン)、
バーデンバーデン国立美術館(ドイツ)
「第16回東川賞受賞作家作品展」東川町文化ギャラリー(北海道)
「現代写真における風景」オルデンブルク州立博物館(ドイツ)
- 1999 「大辻清司と15人の写真家たち」東京造形大学
「モデナ写真年1999」モデナ市民ギャラリー(イタリア)
「目の及ばぬところ(写真トリエンナーレ)」ダイヒトアハレン(ハンブルク)
「木村伊兵衛写真賞の軌跡1975-1999」川崎市市民ミュージアム
「伊東豊雄：透層する建築」ズーエモント・ルートヴィヒ美術館(アーヘン、ドイツ)
- 1998 「写真の現在-距離の不在」東京国立近代美術館フィルムセンター
「ウォータープルーフ」ベレム文化センター(リスボン、ポルトガル)
「アジア・シティ」ザ・フォトグラファーズ・ギャラリー(ロンドン)
「21st Anniversary ZEIT-FOTO-幻のNI CAF1998年展に代えて」アートスペースシモダ(東京)
「スピード」ザ・フォトグラファーズ・ギャラリー
「どないやねん! 現代日本の創造力」国立高等美術学校(パリ)
- 1997 「干渉」L. A. ギャラリー
「LAZUR 夜想鉦物展」(畠山直哉, 大谷芳久) デルタ・ミラージュ(東京)
「都市のイメージ 東京国立近代美術館の写真コレクションより」
東京国立近代美術館フィルムセンター(東京)
「欲望と空虚」クンストハレ・ウィーン(オーストリア)ほかヨーロッパ巡回(1997-1998)
「時間/視線/記憶 -90年代美術にみる写真表現-」東京都現代美術館
「アートは楽しい8 -複製時代-」ハラ ミュージアム アーク(群馬)
- 1996 「ランド・オブ・パラドックス」フォトグラフィック・リソース・センター(ボストン)ほか
アメリカ巡回 / 芦屋市美術博物館ほか日本巡回(1996-1998)
「アイデアル・スタンダード・ライフ」スパイラルガーデン
「第32回今日の作家展 ニュー・ジャパニーズ・フォトグラフィ 1990's 無意識の共鳴」
横浜市民ギャラリー
- 1995 「アナザー・リアリティー -現代写真の動向」川崎市市民ミュージアム
- 1994 「液晶未来-現代日本写真」フルーツ・マーケット・ギャラリー(エジンバラ)ほかヨーロッパ・
東京巡回
「欲望の砂漠」スパイラルガーデン(東京)
「カワサキ・モニュメント」川崎市市民ミュージアム
- 1993 「岩に染み入る蟬の声-現代日本写真展」クンストハウス・チューリッヒ(スイス)
- 1992 「MATRIX OF PHOTOGRAPHY-現代写真の母型3」川崎市市民ミュージアム
- 1991 「コンテンポラリー フォトグラフィー 日本の14人展」日本橋三越アールクリオ(東京)
「オリエンタリズム検証」ツァイト・フォト・サロン
「牛/イメージ」サンジェルヴェ(ジュネーヴ, スイス)
「メイク・ビリーブ」ザ・フォトグラファーズ・ギャラリー(ロンドン)ほかイギリス巡回
- 1990 「写真150年 海の写真名品展」下関市立美術館(山口)
「日本のコンテンポラリー -写真をめぐる12の指標」東京都写真美術館/パヴィヨン・デザール(パリ)

- 1989 「第9回ハラ アニュアル」 原美術館(東京)
「オリエンタリズムの絵画と写真展」 世界デザイン博覧会ホワイトミュージアム(名古屋)
- 1988 「日本現代写真展」 コロンビア・カレッジ・シカゴ(アメリカ)
「TAMA VIVANT '88」 シブヤ西武シードホール(東京)
- 1986 「現代日本写真展」 ラ・カーサ・エリサルダ(ノルセロナ)ほかスペイン巡回
- 1985 「パリ・ニューヨーク・東京」 つくば写真美術館(茨城)
- 1983 「PHOTOGRAPHY 展」 画廊みやざき(大阪)
- 1982 「15 contemporary photographic expressions」 筑波大学大学会館別館(茨城)
- 1981 「カメラワークス・イグズィビション」 筑波大学大学会館ギャラリー(茨城)

出版物

- 『Terrils』 ライト・モチーフ / タカ・イシイギャラリー (リール/東京)、2011年
- 『Ciel Tombé』 スーパーラボ (神奈川)、2011年
- 『話す写真 見えないものに向かって』 小学館 (東京) 2010年
- Scales*, Portland, Nazraeli Press, 2007
- 『A BIRD』 タカ・イシイギャラリー (東京) 2006年
- 『畠山直哉 HATAKEYAMA NAOYA Draftman's Pencil』 神奈川県立近代美術館 鎌倉 2007年
- 『二つの山』 (バルタサール・ブルクハルト、畠山直哉) 二つの山展実行委員会 (東京) 2006年
- Zeche Westfalen I/II Ahlen*, Tuscon, Nazraeli Press, 2006 / [仏語版: *La Houillère de Westphalie I/II Ahlen*, Paris, Textuel, 2006]
- River Series / Shadow*, Tuscon, Nazraeli Press, 2004 [One Picture Books #25]
- Atmos*, Tuscon, Nazraeli Press, 2003
- 『畠山直哉』 淡交社 (京都) 2002年 [監修: 岩手県立美術館、国立国際美術館]
- Naoya Hatakeyama*, Ostfildern-Ruit, Hatje Cantz, 2002 [スペイン語/バスク語版: Bilbao, BBK, 2003]
- Slow Glass*, Southampton, Light Xchange with The Winchester Gallery, 2002
- 『UNDER CONSTRUCTION』 (畠山直哉、伊東豊雄) 建築資料研究社 (東京) 2001年
- 『Underground』 メディアファクトリー (東京) 2000年
- 『Lazur 透きとおる石』 (畠山直哉、大谷芳久) ペヨトル工房 (東京) 1997年
- 『ライム・ワークス』 シナジー幾何学 (東京) 1996年 / 新版: アムズ・アーツ・プレス (大阪) 2002年
- Naoya Hatakeyama: CITTA IN NEGATIVO -DA LIME WORKS*, Roma, Diagonale s.r.l., 1996
- 『等高線』 CAMERA WORKS (東京) 1982年 [定期刊行物『camera works tokyo』no.9]

パブリック コレクション

- アルトテック・ドゥ・ナント (フランス)
- イェール大学美術ギャラリー (ニューヘイヴン、アメリカ)
- ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館 (ロンドン)
- ガイエコ現代美術センター (スペイン)
- カナダ建築センター (モントリオール)
- 国際写真センター (ニューヨーク)
- ゲッティ美術館 (ロサンゼルス)

国立造形芸術センター (CNAP) / 国立現代美術基金 (FRAC) (フランス)
サンフランシスコ近代美術館 (アメリカ)
スイス写真財団 (ヴィンタートゥーア)
ゾロトゥルン美術館 (スイス)
テート・ギャラリー (ロンドン)
デ・ボン現代美術財団 (オランダ)
ハウス・マルセイユ写真財団 (アムステルダム)
ヒューストン美術館 (テキサス)
プリンストン大学美術ギャラリー (ニュージャージー)
モデナ市市民ギャラリー (イタリア)
ヨーロッパ写真館 (パリ)
ローブ・アートセンター (ニューヨーク)
神奈川県立近代美術館
川崎市市民ミュージアム
国際交流基金
国立国際美術館
せんだいメディアテーク
東京国立近代美術館
東京都写真美術館
東川町 (北海道)
北海道立釧路芸術館
水戸芸術館現代美術センター (所管)
山口県立美術館

アクサ美術保険会社 (ケルン、ドイツ)
バルビエル・ムエリェール(ジュネーヴ, スイス)
DG 銀行 (フランクフルト)
コノコ (イギリス)
チャンネル4 (ロンドン)
ドイツ銀行 (東京)
ハイデルベルクセメント社 (ドイツ)
株式会社大林組
マイクロソフト (アメリカ)
UBS (スイス)